

知って安心



あなたのくすりと健康



聞いて安心

第76号

- 予防接種とワクチンについて…横浜市立大学附属病院 薬剤部 若杉 正
- つらい花粉症とお薬…けいゆう病院 薬局 林 誠一
- 医薬品の保管について…賛助会員 久保田 貴子



病棟で処方の確認をしている様子

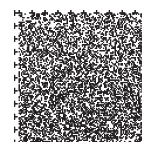
<表紙写真> 医療法人社団総生会 麻生総合病院

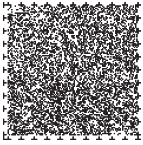
当院は、川崎市北部に位置する199床の急性期病院です。薬剤科では患者様に真摯に向き合うことをモットーに日々仕事に励んでいます。特にチーム医療の推進に力を入れ始めており、回診に同行するなど、医師、看護師や他の職種とのコミュニケーションを大切にしています。また、病棟に常駐する薬剤師を増やすとともに、感染対策チーム (ICT)、栄養サポートチーム (NST)、褥瘡対策チームといった分野で薬剤師が積極的に活躍しています。

公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

2015年3月発行

音声コード





予防接種とワクチンについて

●なぜ予防接種をするの？

細菌やウイルスといった病原体に対して自身の持つ抵抗力（免疫）がないとその病原体に感染しやすく、また、重症化する恐れがあります。予防接種は、ワクチンを接種して病原体に対する免疫を得ることで感染による病気を予防することを目的としています。

風しんや水痘（みずぼうそう）の予防接種は、妊娠前に接種しておくことで妊婦自身の感染症だけでなく、風しんや水痘のウイルスの影響でおこる赤ちゃんの先天性異常を予防します。B型肝炎ワクチンは肝硬変や肝がんの予防、ヒトパピローマ感染症ワクチン（現在、積極的な接種勧奨が差し控えられています）は子宮頸がんの予防など、がんの予防につながるものもあります。

●ワクチンって何ですか？

ワクチンは病原体の感染力（病原性）を極めて弱めたり、なくしたりして作られる医薬品です。例えば、子供がみずぼうそうに一度かかるとその後はかからないように、病原体に感染すると体内に免疫ができてその病原体に感染しないか、感染しても軽い症状ですみます。ワクチンを接種すると病原体に感染したときと同じように免疫を得ることができるのです。

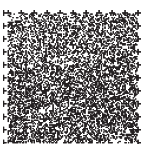
●予防接種法について

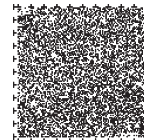
予防接種法は、公衆衛生上、病原体の感染による病気の発生や重症化、病気のまん延を予防する必要がある病気を定め、その予防接種や予防接種による健康被害の救済に関して制定しています。予防接種は、予防接種法に基づいて実施される定期接種と予防接種法に基づかない任意接種があります。任意接種は予防接種法に定められていませんが、定期接種と同様に感染による病気の予防が可能となりますので接種することを推奨いたします。定期接種は国からの手当てがあるため費用の負担はないか軽減されていますが、任意接種の費用は全額自己負担（助成制度がある場合、自治体が費用の一部を負担）となります。

予防接種の分類と病気

定期接種	A類疾病	<u>主に集団予防、重篤な疾患の予防に重点。努力義務がある</u> ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎（ポリオ）、麻しん、風しん、日本脳炎、破傷風、結核、ヒブ（Hib）感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、水痘（みずぼうそう）
	B類疾病	<u>主に個人予防に重点。努力義務はない</u> 肺炎球菌感染症（主に 65 歳以上）、インフルエンザ（主に 65 歳以上）
任意接種	おたふくかぜ、A 型肝炎、B 型肝炎、ロタウイルス感染症、髄膜炎菌感染症など	

感染症はかかりやすい年齢や流行期間があるので、その時期までにワクチンの接種を終わらせておくことが重要です。ご不明な点がございましたら、医師または薬剤師など医療従事者にご確認ください。





つらい花粉症とお薬

スギ、イネ科植物(カモガヤ)、ブタクサによる花粉症は【世界3大花粉症】とも言われており、主にヨーロッパではイネ科植物の花粉症が、アメリカではブタクサによる花粉症が多くみられるようです。

日本では、圧倒的にスギによる花粉症患者さんが多いのですが、上記3大花粉は存在します。その他で皆さんがご存じなのはヒノキなどでしょうか。関東地方では、一般的に2月頃からスギ花粉の飛散が始まり、4月下旬に飛散が少なくなります。そして、ヒノキ花粉の飛散が始まり、5月末頃まで続きます。まだ他にもありますが、ブタクサ花粉などでは7月下旬から10月頃まで飛散があります。

このように植物の種類により飛散時期が異なることや、花粉以外の原因物質等、また複数の花粉に反応する人も増えており、一年中くしゃみ・鼻水・鼻づまりや目のかゆみなどのアレルギー症状に悩まされている人も少なくありません。

予防や症状緩和には、マスク・メガネなど自ら花粉の暴露から身を守るセルフケアと、飲み薬、点鼻液、点眼薬などを用いるメディカルケアが大切になります。

花粉症の治療は、症状やその程度によって、色々な作用の薬を組み合わせることもあります。アレルギー症状を緩和する飲み薬の中には、眠くなったり、注意力が低下したりする副作用の起こりやすい薬もありますので、医師・薬剤師の指示にしたがって自動車の運転や危険な機械の操作は避けるようにしましょう。

最近では、舌の裏側に薬を垂らす(舌下投与)免疫療法も保険診療が可能となりました。症状に合わせた治療法がありますので、我慢せず医療機関等におかかりになることをお勧めします。なお、アレルギー性鼻炎では状態に応じて、次のようなお薬が使われています。

重症度	初期療法	軽度	中等症		重症・最重症		
病型			くしゃみ・鼻漏型	鼻閉型または鼻閉を主とする完全型	くしゃみ・鼻漏型	鼻閉型または鼻閉を主とする完全型	
治療	① 第2世代抗ヒスタミン薬 ② 遊離抑制薬 ③ 抗ロイコトリエン薬 ④ 抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 ⑤ TH ₂ サイトカイン阻害薬 注釈1	① 第2世代抗ヒスタミン薬 ② 鼻噴霧用ステロイド薬 注釈2	第2世代抗ヒスタミン薬 + 鼻噴霧用ステロイド薬	抗ロイコトリエン薬 または 抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 + 鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬	鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬	鼻噴霧用ステロイド薬 + 抗ロイコトリエン薬 または 抗PGD ₂ ・TXA ₂ 薬 + 第2世代抗ヒスタミン薬 注釈3	
		点眼用抗ヒスタミン薬または遊離抑制薬				点眼用抗ヒスタミン薬または遊離抑制薬またはステロイド薬	
		アレルギー免疫療法					鼻閉型で鼻腔形態異常を伴う症例では手術
		抗原除去・回避					

遊離抑制薬：ケミカルメディエーター遊離抑制薬

抗PGD₂・TXA₂薬：抗プロスタグランジンD₂・トロンボキサレンA₂薬

注釈1：くしゃみ・鼻漏型には①、②、鼻閉型または鼻閉を主とする完全型には③、④、⑤のいずれか一つ。

注釈2：①と点眼薬で治療を開始し、必要に応じて②を追加。

注釈3：必要に応じて点鼻用血管収縮薬を治療開始時の1~2週間に限って用いる。

鼻閉が特に強い症例では経口ステロイド薬を4~7日間処方して治療を開始することもある。

(鼻アレルギー診療ガイドライン 2013)

けいゆう病院 薬局 林 誠一



~県病薬ホームページのご案内~



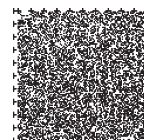
当会では薬剤師や薬学生のほか、一般市民の方を対象としてホームページ上でさまざまな情報を提供しています。

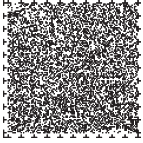
- ・本誌バックナンバー、禁煙支援に関すること
- ・不正な大麻・けしの撲滅運動について
- ・研修会・講習会のお知らせ(薬剤師、薬学生向け)
- ・病院薬剤師求人情報(薬剤師、免許取得見込者向け)



大麻(マリファナ)

詳しくは神奈川県病院薬剤師会ホームページ
<http://www.kshp.jp/> をご覧ください





医薬品の保管について

医薬品は、食品などと同じようにその保管や使用期限にも注意が必要です。一般的には、高温、多湿、直射日光を避けて保管します。

1 温度について

常温は15～25℃、室温は1～30℃、冷所は、とくに記載がない場合は1～15℃の場所とされています。このため、冷所の記載がある場合は冷蔵庫に入れますが、特別な指示がなければ冷凍庫で凍らせてはいけません。

液状で蓋を開け閉めして何度も使うような医薬品は、冷蔵庫のほうが雑菌の繁殖が遅いと考えられます。ただし、室温で保管ができるもの、含まれている保存剤などによっては室温のほうがその効果が高いものもあるので、保管方法は必ず確認するようにしましょう。

なお、車内や暖房器具の近くなど高温になるような場所や、直射日光が当たる場所での保管は避けましょう。

2 湿度について

洗面所や浴室の周辺など湿度の高い場所での保管は避けるようにしましょう。特に、ドライシロップなどのこなぐすりは、湿気により固まったり、変色したりすることがあります。湿気対策としては、密閉した容器に入れておくことが大切です。ビンに保管する場合は、しっかりと蓋を閉めましょう。

3 使用期限について

市販の医薬品については、外箱や添付文書に使用期限が記載されています。しかし、これは未開封で、その製薬会社の指定する保存方法で保管した場合の期限です。開封後の使用期限については添付文書などで確認するなどの注意が必要です。外箱や添付文書は使い切るまで捨てないようにしましょう。

病院にかかり処方せんで調剤してもらった薬については、受け取った日から服用しはじめ、指示通りに服用し終わることが原則です。特に水剤、点眼剤など、何度も開閉するものには気をつけましょう。

4 誤飲防止について

不注意による誤飲事故が多発しています。医薬品は、子供の手の届かないところ、子供の見えないところに置くように心がけてください。鍵のかかる場所や取り出しにくい容器に入れるなど複数の対策が効果的です。殺虫剤、農薬など医薬品以外のものと一緒に置かない、容器を入れ替えないことも誤飲防止になります。

保管方法や使用期限など、個々の医薬品に関する疑問について詳しくはお気軽に薬剤師におたずねください。

賛助会員 久保田 貴子



当会では病院薬剤師がお薬に関する様々なご相談を受け付けています。
(お一人あたり15分程度、無料)

〈受付時間〉平日の10時～17時(12時～13時除く)

- ・薬の副作用や飲み合わせが気になる方
- ・薬の効能・効果を再確認したい方



お問い合わせ：神奈川県病院薬剤師会 ☎045(761)3345

《編集後記》活躍する薬剤師を紹介しています。今後も様々な事業を企画してまいります。ご要望などございましたら、下記の事務局までご連絡お願いいたします。

《発行》公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

〒235-0007 横浜市磯子区西町14-11 神奈川県総合薬事保健センター 4階

TEL：045-761-3345 FAX：045-761-3347

インターネットアドレス <http://www.kshp.jp/>

